

# 『また歩こう そんな気になる 道がいい』

～平成21年度「道路ふれあい月間」推進標語 入選作品決定のお知らせ～

道路局 道路交通管理課

## ◆「道路ふれあい月間」とは◆

国土交通省では、毎年8月1日から31日までの1箇月間、道路を利用している国民の方々に改めて道路とふれあい、道路の役割及び重要性を再認識していただき、さらには道路をいつくしむという道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図るとともに、道路を常に広く、美しく、安全に利用する気運を高めることを目的とした運動を実施しています。

## ◆「道路ふれあい月間」推進標語◆

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない基本的な施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。

そこで、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、改めて道路の意義・重要性について考えて頂くことを目的に、平成21年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集しました。

「道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。」をテーマに、1月中旬から3月31日までの間、国土交通省ホームページなどで募集を行ったところ、全国各地から6,710作品もの応募がありました。

これを受け、5月12日に審査懇談会を開催し、審査員に山村レイコ氏（エッセイスト・元国際ラリーライダー）を交え、厳正な審査を行った結果、最優秀賞1作品、優秀賞5作品が選ばれました。

選ばれた作品は、「道路ふれあい月間」期間中、本月間推進のため幅広く活用されます。

## ◆平成21年度の入選者・作品◆

### ○最優秀賞

『また歩こう そんな気になる 道がいい』  
青森県 松山 華子さん（小中学生の部）

### ○優秀賞

『続く道 夢に希望に ふるさに』  
東京都 世良 和美さん 13歳（一般の部）

『この道が 支える我が街 我が暮らし』  
大阪府 鈴木 昭博さん 44歳（一般の部）

『元気湧く 地域いきいき 道路から』  
大阪府 川崎 幸子さん 39歳（一般の部）

『ゆっくりと かぜをかんじて あるく道』  
新潟県 坂井 敏法さん 8歳（小中学生の部）

『いつの日も ほくらを見まもる つうがくろ』  
高知県 濱渦 龍之助さん 9歳（小中学生の部）

※年齢は、入選決定時

## ◆ 審査懇談会の様子 ◆



### 《審査員メンバー》（敬称略）

- ・山村レイコ（エッセイスト・元国際ラリーライダー）
- ・荒井 俊行（財団法人道路交通情報センター理事）
- ・齋藤 隆司（全国道路利用者会議事務局長）
- ・井上 剛志（国土交通省道路局道路交通管理課長）
- ・國澤 典生（国土交通省道路局総務課道路企画調整官）